

関前コミュニティだより

発行 2026年3月15日 (第195号)

■〒180-0014 武蔵野市関前 2-26-10

■TEL&FAX : 0422(51)0206

■開館 : 午前9時30分~午後9時30分 (利用は9:15迄)

■E-mail : sekima-c@bz04.plala.or.jp



関前コミュニティ協議会

ムーバス三鷹北西循環

⑧関前コミセン

■休館日 : 木曜日 & 年末年始

■HP : <https://www.sekima-c.sakura.ne.jp>



令和8年度 地域住民総会のお知らせ

日時 : 4月19日(日) 14:00 ~

場所 : 関前コミセン レク室

対象 : 関前地域住民の皆さま

議題 : 令和7年度事業報告/決算報告
令和8年度事業計画案/予算案
新委員の審議・承認及び意見交換

毎年、年度初めに開催しております地域住民総会は、その年の関前コミュニティ協議会の事業計画や運営委員を承認する場でもあり、コミセン運営の最高意思決定機関です。

関前在住の皆さまにご出席いただき、運営について、忌憚のないご意見を承ることで、身近で親しみのある開かれた関前コミセンとして活動できます。

多くの方のご参加を心よりお待ちしております。



関前コミセン公式キャラクター「セキちゃん」

これからのイベント案内と参加のお誘い

コミセンでは、上記で案内されております地域住民総会で、令和8年度の事業計画案が発表となり、1年を通して様々なイベントが企画され、実施されております。4・5月に開催予定の企画はまだ出ておりませんが、実施が決定次第、ポスターやチラシ、ホームページ等にて発信して参ります。

皆さんも、ご自身の趣味や特技を生かして、こうしたイベントを企画してみませんか？

近所に「同好の士」が見つかるだけで、地域が身近になります。運営委員とか協力員というとか何か大ごとになってしまうかもしれませんので、まずはお気軽にイベント参加してみてください。

お声掛けをお待ちしております。

あなたのアイデアと行動を形にしませんか！ 運営委員・協力員募集

コミセンの運営はボランティアの活動で成り立っています。現在幅広い年齢層の方が、自分のできる範囲内で行事などの運営に携わっています。

この地域に引っ越しをしてきて、まだお知り合いが少ない方、第一線から退き自分の時間が取れるようになり地域デビューにご興味のある方、得意分野で地域貢献したい方には最適な活動です。

例えば…

* コミセンで行われる各種イベントや講座などの企画や運営ができます

* 幅広い年齢の地域の方々との交流が深まります



関前コミセン公式キャラクター「セキちゃん」

1月・2月のイベント報告

とんと焼き

1月11日(日) 主催:青少協(地域諸団体協力)

1月11日(日)、関前南小で恒例のとんと焼きが開催されました。前日より強風が吹いており、実施も危ぶまれましたが、法螺貝の音と共に点火された松飾りの山は、瞬間に炎に包まれ、無事に焼き上げることができました。

用意された40kgのもち米も、校庭から体育館に設置された、お餅製造ラインに乗り、美味しい「あんこ餅」と「きな粉餅」となって、集まった小学生に配られました。

頬を熱くする炎はこの貴重な体験を子ども達の記憶にも強く焼き付けたのではないかと思います。



多摩湖往復ナイトハイク

1月24日(土)・25日(日) 共催:西久保コミセン他5団体

1月24日(土)～25日(日)にかけて第49回多摩湖往復ナイトハイクが開催されました。

外に出るのが嫌になるぐらいに寒い日でしたが、0時過ぎに西久保コミセンを出発した生徒達は多摩湖自転車歩行者道を元気に歩きとおしてまだ陽が昇る前に沢山の思い出と共に無事に戻ってきました。

五中久山校長も生徒達と一緒に歩いており、このナイトハイクの様子を「みどりの風」に綴られており、五中ホームページで読むことができます。是非、ご覧ください。



楽しいクッキング

「オニ恵方まきと豆ポップコーン」を作りました

1月24日(土)10:00～11:30

本館会議室にて、参加人数15名で実施しました。

大きな寿司桶を見てびっくり!!

みんなで協力しながら、寿司飯をしゃもじで混ぜたり、うちわであおいで冷ましたりしました。

色々な具材を入れて巻きすを使って上手に巻くことができ、かわいい鬼の恵方巻が完成。甘いポップコーンと一緒にみんなで食べました。



関前ミュージックフェスティバル

& お茶わんリユース

2月28日(土)13:30～16:00

ロビーでお茶わんリユース、レク室ではミュージックフェスティバルが開催され、それぞれ156名、89名の参加ということで大変に賑やかな1日となりました。7組の出演者の皆さま、素敵な演奏ありがとうございました。また、お茶わんの持ち込みもありがとうございました。タイアップ企画は来館の方にも好評でしたので、次回もお楽しみに!



4月1日から一部利用方法変更について

大広間でのピアノ / 利用方法が決まりました！

194号でもお知らせしましたが、昨年、地域の方から高級ピアノの寄贈があり、現在、大広間のステージに置かれております。

当コミセンの音楽室は完全防音ではありませんが、音楽活動用のお部屋として大変に人気があり、唯一半コマでの当日利用予約のお部屋として皆様に愛用していただいております。

こうした背景から、混雑解消策として、ソロ演奏等一定程度の条件をクリアできていれば、大広間での楽器演奏も可能として参りました。

ピアノも同じ楽器であり、演奏希望の皆さまに合わせてとなると全面開放の形になるのですが、大広間には防音設備は何一つ無いので、やはりピアノ演奏には利用制限をつけ、大広間本来の利用の場を維持したいという趣旨の下、今回以下のような骨子がまとまりました。

- 1) 大広間でのピアノ演奏では、演奏練習（団体を含めて）という理由での利用はできません。
- 2) 夜間（17時以降）演奏はできません。
- 3) 事前に申請書を出していただいて、利用目的の確認や防音への配慮等上記内容をしっかりと理解していただいた上で使用いただきます。

前日予約・当日予約の規定で一部変更となります

各部屋の利用予約は4名以上で利用日の1か月前（市外の場合には2週間前）から開始しておりますが、3名以下（含個人利用）の場合には前日予約や当日予約の制度で救済措置を取っております。

予約方法の多角化で利用機会も増えており、お部屋の確保が難しいケースも出てきた為、4月より前日予約、当日予約で取れていた1日2コマについてを1コマまでに制限をすることにします。

但し、次のコマの開始時間までに利用者が現れない場合には延長利用可能です。

つまり通常予約以外は、1コマが基本となり、2コマ目は他に利用者が居なければ大丈夫というのがこれからの使い方となります。

上手に使って、他の利用者さんとお部屋をシェアしていく感覚でお願いします。

大広間 常設ピアノ使用申請書			
使用内容			
使用日	令和 年 月 日()	使用時間	時 分 ~ 時 分
使用目的			
参加者数	人	演奏者	
他の使用楽器	なし・あり()		

使用の際のお願い
1.窓・障子・通路側扉を開けて、音量に配慮して演奏願います
2.ピアノ本体、鍵盤(象牙製)の扱いに十分ご注意ください(手洗い推奨)
3.使用時間は17時までとなります(夜間は不可)
4.使用後はピアノを清掃セットで清掃・施錠願います
5.破損等があった場合は速やかに報告願います

上記内容を守り、管理者の指示に従って大広間常設ピアノを使用します。

令和 年 月 日
申請者(代表者)氏名:
使用団名:
連絡先住所:
連絡先TEL:
SAMPLE

交付印	予約簿記入	申請者への連絡	承認印
	月 日 記入者印	月 日 連絡者印	

大広間の利用予約時に上記、申請書に記入していただき、こちらのコピーをお渡しします。通常はピアノの蓋の鍵は施錠されていますが、この申請書が提出されて承認された場合には利用前に窓口の方で鍵を開けた状態でお部屋の準備をしますので、そのままご利用ください。

Q&A

- Q1 通常予約で2コマ取得した上で、利用日に3コマ目を前日予約しても良いですか？
A1 前日予約はできません。当日、次の利用者が居ない場合には延長可能です。
- Q2 前日予約で1コマ、当日予約で1コマは良いですか？
A2 実質2コマになってしまうのでできません。当日の延長利用を検討してください。
- Q3 別の団体として1コマずつは良いですか？
A3 同一メンバーの場合には同一団体とみなしますが、構成が異なれば良いものとします。同じ団体が独占しないように配慮ください。

関前グリーン散歩

玉川上水の碑の脇のシラカシ

コミセンで使う防草シートを探しに行った帰り道、関前5丁目の境橋たもと「玉川上水の碑」という碑の東側の大きな樹に気が付きました。

スタジイカシラカシか、葉っぱを見ただけではよく分からないのですが、下にはたくさんのドングリが落ちていたのですぐに分かりました。



特徴のあるシマシマの帽子が外れてはいますが、その丸みを帯びたフォルムでこれはシラカシの大木だと分かりました。

こちら辺りはかつて境水衛所、江戸時代まで遡ると「水番所」のあった場所であり、玉川上水の水の流れを監視する役人が詰めていました。胸回りは二抱え程あるので、この樹もきっとその頃から長く上水を見守ってきたのではないのでしょうか。

シラカシは、ブナ科コナラ属の常緑高木で、名前の由来は材が「白く堅い木」からという説が有力ですが、同じ樹にもかかわらず「クロガシ」と呼ばれることもあるようで、こちらは樹皮の色が黒っぽいことから来ているとのこと。どちらも見た目なのに白と黒の両方の呼び名があるのも面白いですね。

随分と前の129号でシイノキ（スタジイ）を取り上げましたが、あっちのドングリと違いこっちのドングリはタンニンが多く、渋抜きをしないと食べることができません。熊はタンニンの処理能力が高いのでドングリが栄養源なのですが、もっと美味しいものが里に溢れていることを知ってしまったので、厄介なことになりました。この樹が気になった方は、上水沿いはとても良い散歩道なので、暖かくなってきたら是非、足をお運びください。



コミセンからのお知らせ

コミセンメールアドレスの変更

プロバイダ側の都合から4月よりコミセンのメールアドレスが変わります。現時点ではまだ新しいアドレスが分かっていないのでお知らせできませんが、現在のアドレスでも8月31日までは受信可能なので、4月以降8月までを移行期間として新旧アドレスを併用して運用します。

新しいアドレスは分かり次第、館内ポスター等でお知らせします。また、次号196号（5月15日号）ではお知らせできるとお思いますので、よろしくお願いいたします。

関前コミュニティニュース

関前福祉の会より

毎月、第2月曜日 10:30～、関前1丁目の「とらいふ」で、歌の会「カナリア」を開催しております。参加費は無料ですのでご興味がある方はお気軽にお越しください。

連絡先：大坪（080-1364-8662）



編集後記 2面のイベント報告にもありますが、毎年この時期に行われるナイトハイクは厳冬期の夜中に26kmを歩き通すという地域イベントで、学校行事ではありません。

日本各地の高校で行われておりますが、中学生が対象でこの時期に行うというのは、かなり珍しい（狂っていると言う方も）と言って良いと思います。

第2回本屋大賞を取った「夜のピクニック」※は高校生の80kmの歩行祭を題材にした青春小説ですが、思い出して久しぶりに読んでみました。この中に「みんなで、夜歩く。ただそれだけのことがどうしてこんなに特別なんだらうね」という言葉が出てきます。強制参加ではないので経験できる生徒はある面幸せなことで、地域の皆さんの支えがあってこの特別な体験ができます。「青春の煌めき」とかは本人たちは気づきませんが、見ていると応援したくなります。来年はなんと第50回。生徒もサポーターもたくさんの方の参加お待ちしております！
※ロビーの書架にもあるのでどうぞ。